

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	イオンモール株式会社 Nagoya Noritake Garden
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市西区則武新町3丁目1番17号
工場等の名称	イオンモール Nagoya Noritake Garden / BIZrium名古屋
工場等の所在地	名古屋市西区則武新町3丁目1番17号
業種	不動産業、物品賃貸業
業務部門における 建築物の主たる用途	物販店
建築物の所有形態	賃貸ビル等（賃貸している建築物）
事業の概要	ショッピングセンター、オフィスビルの管理・運営
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和6年7月21日 ～ 令和6年10月19日		
公表方法	○	掲示 閲覧	（場所） 1階インフォメーション
		ホームページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-587-1600		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

●中部電力ミライズ再生エネルギー電源に由来するCO2フリー価値付きの電気を使用

※中部電力ミライズ株式会社の「非F I T非化石証書付電力メニュー」により実質的にCO2排出量ゼロとなる電気を調達します。

この取り組みは、地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）の「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」において、報告する全使用量をCO2排出係数ゼロとして排出量（調整後）の算定をすることができると考えております。

●館内共用部分及び後方部分の照明設備にLED照明を導入

●館内の空調設定温度の調整

●従業員専用通路の一部消灯

●屋上、壁面緑化

・ヒートアイランド現象の緩和

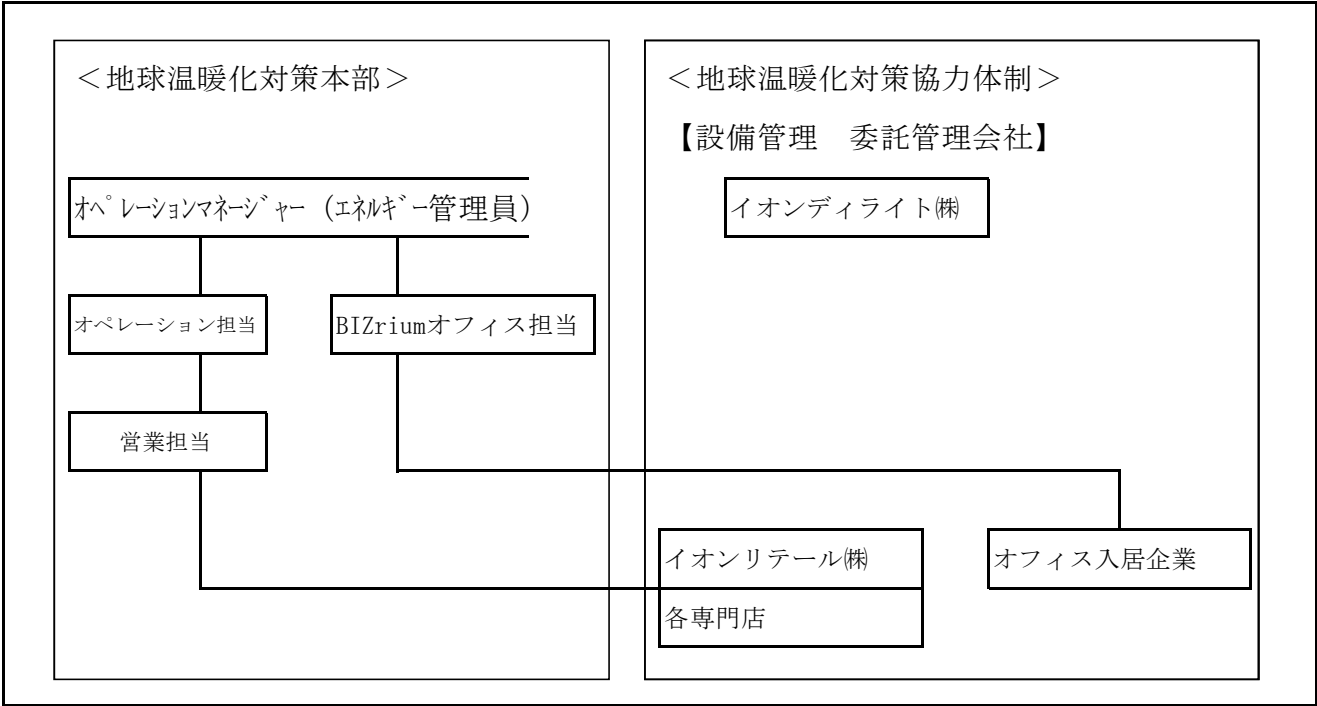
・断熱保温効果

壁面緑化には断熱保温効果が期待できます。暑い夏には、室内の温度上昇を軽減し、寒い冬には保温効果を見込んでおります。

●EV充電器の設置

※急速充電器 2台、普通充電器 4台

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		0	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素換排 算） 排出量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二室素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	0	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
温室効果ガス 総 排 出 量	0	t-CO ₂		t-CO ₂	#REF!	t-CO ₂	0	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）				%	#REF!	%	#DIV/0!	%	%
温室効果ガス みなし総排出量					#REF!	t-CO ₂	t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）					#REF!	%	%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
原単位あたりの 排 出 量					#REF!				
削減率（対 基準年度）				%	#REF!	%	%		%
原単位あたりの みなし排出量					#REF!				
削減率（対 基準年度）					#REF!	%	%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

2023年度計画値、20,167千kwh に対して実績16,815千kwhのため達成できております。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

[illegible]

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

■フードロスの削減 ・名古屋市食べ残しゼロ協力店の参画 ・フードドライブの実施（名古屋市環境推進課と協働）

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

夏季（7・8月・9月）を除く毎月、敷地周辺の清掃活動を実施。
